

テスト名	General Educational Development (GED) 4th version	
1. 運営事業団体	GED Testing Service	
2. テスト作成母体	GED Testing Service・アメリカ教育協議会 (ACE)	
3. 主たる受験対象者	アメリカまたはカナダにおいて中等教育の課程を修了した者と同等以上の学力の証明を目指す人	
4. 目的	アメリカまたはカナダにおける高等学校卒業程度の能力を測定すること	
5. 構成概念の構成(測定する能力)	<b>Language Arts (Reading)</b>	<b>Language Arts (Writing)</b>
	Comprehension: テキストの基本的な内容や書かれた目的を理解することができる。	文章を書く上で必要となる、語法や文法知識、文章を構成する能力を持っている。特にエッセイライティングでは、要点を明確にし、構成をわかりやすく、主張を支持する具体例を挙げ、構文、句読点、文法、言葉の選び方、スペリングに留意することができる。
	Application: テキスト内容を適切に取り取り、別の文脈で理解した内容を応用できる。	
	Analysis: テキストの詳細情報から結論を導き、別の視点から内容を考えることができる。	
	Synthesis: 様々な文章に共通する要旨・主張・目的を理解することができる。	
6. テストの性質(テキスト・タスクの性質など)	多肢選択式 (40問): 300-400語程度のフィクション5つ、ノンフィクション2つのテキストが与えられる。それぞれのテキストについて分析力・読解力などを問う選択肢が与えられる。	第一部・多肢選択式 (50問): 文法的に正しい選択肢を選ぶ問題が出題される。文章の構成を問う問題 (15%)、文構造 (30%)、語法・慣用句 (30%)、表現技巧 (25%) が主な出題範囲となる。 第二部・エッセイライティング: 一般的なトピックが一題与えら
7. 採点基準	多肢選択式問題は2値的に採点される。 エッセイは (1) 要点、(2) 構成の明確さ、(3) 具体例の質、(4) 構文・句読法・文法・語法・スペリングの観点で採点 (4点満)	
8. 得点	他教科の成績と合わせて合否を判定する。	
9. 受験時間	Reading → 65分・Writing → 75分 (第一部) / 45分 (第二部)	
10. 受験者数	非公開	
11. 受験料	受験料は州によって異なり、無料の州から\$150必要なところまでである。	
12. ウェブサイト	<a href="http://www.gedtestingservice.com/ged-testing-service">http://www.gedtestingservice.com/ged-testing-service</a>	
13. その他 (変化・特徴など)	テストはLanguage Artsの他に数学・理科・社会が課される。 2002年に4版目が実施され、近年の高等学校教育の基準により近いものに改定された (日本の大検に相当)。 日本ではプロメトリック社を通じて受験可能だったが2013年2月1日をもってサービスが停止された。	

\* 北米の高等教育機関への留学には他テストを使用する機会が多く、日本で受験する機会は少ないと思われる (A.H.)